

第1回 大人のための学びのひろば
～ミドル層から大学を変える～

実施要項

1. 目的

大学を取り巻く様々な課題に対し、ミドル層の職員はどのようなことができるのか、広い視野を持ち、新たな発想を受け入れ、視点を変えられる柔軟性と創造性のある大学職員になることを目指します。

また、複数の大学の複数の分野の教職員が集まることにより、目の前の業務をいろいろな視点から捉え、新たな業務視点を検討する引き出しを増やす機会を提供し、課題解決に向けた広いネットワークの構築と共有につなげます。

2. 主催

横浜国立大学職員SD研修「大人のための学びのひろば(仮称)」グループ

3. 日時・会場

[日時] 平成26年9月12日(金) 13:30から17:00(予定)

情報交換会 17:30から19:00

[場所] 横浜国立大学 大学会館4階ホール S1-⑤

http://www.ynu.ac.jp/access/pdf/YNU_MAP_J.pdf

[アクセス] <http://www.ynu.ac.jp/access/index.html#bus>

4. 参加対象者

副課長・係長相当職をメインターゲットとしますが、係長以下の方、課長以上の方、教職協働に関心のある教員の方にもご参加いただけます。

5. 主な内容

①講演「ミドル層のリーダーシップを考える」

民間から大学職員に就かれて活躍されている信州大学学務部学生支援課長の金子功氏から、民間から見た国立大学像や取り組まれてきた改革の事例なども交えながらお話しいただき、新たな取り組みの可能性や考え方のヒントを得る機会とします。

②パネルディスカッション「ミドル層として意識したいこと」

信州大学の金子功氏、首都大学東京管理部教務課教務係長の宮林常崇氏、横浜国立大学総務部広報・渉外課長の大澤俊正の3名の方にパネラーとなっいただき、民

間的発想とは何なのか、それを大学事務に落とし込むには何が必要なのかといった議論を行い、自分たちが現在出来ていること、出来ていないことを見詰め直します。

③グループワーク 「こんな失敗しちゃった！！」

グループ内の失敗事例に対し、インシデント・プロセス法を使用して、その背景や原因、解決策を探ります。問題解決に向けた一手法としてインシデント・プロセスを経験することで、ミドル層におけるマネジメントスキルの向上を目指します。

[情報交換会]

大学会館 3 階 PORTY において情報交換会を開催します。ぜひ多くの方と交流を持ってネットワークを構築してください。(会費 3 千円を当日徴収いたします。)

6. 申し込み方法

メールにて、件名に「大人のまなび」と明記いただき、下記の情報をご記入の上、平成 26 年 8 月 31 日（日）までに ses.fukujimuchol@ynu.ac.jp宛てご連絡ください。

- ①氏 名
- ②大学名・所属・役職
- ③情報交換会の出・欠

横浜国立大学職員SD研修「大人のための学びのひろば（仮称）」グループ

馬橋 修一（理工学系大学院等事務部副事務長、グループリーダー）

上ノ山 周（工学研究院教授）、上野 誠也（環境情報研究院教授）、平野 昌男（総務課長）

望月 邦宏（人事・労務課副課長）、岸 信治（教務課長）、関 富士夫（入試第一係長）

村上 健一郎（教務課国際教育係員）、駒村 高宏（社会科学系事務部会計係長）